

平成 29 年度 第 1 回 茅ヶ崎市地域公共交通会議 会議録

議題	<p><協議事項> (1) 生活交通改善事業計画について</p> <p><報告事項> (1) 予約型乗合バスの現状とアンケート調査報告について (2) バス停名の変更について (3) バス停（コミュニティバス）等の改良について</p>
日時	平成29年2月14日（水） 10：00～11：30
場所	茅ヶ崎市役所分庁舎 5階 特別会議室
出席者氏名	<p>会 長：岡村 敏之 副会長：大野木 英夫 委 員：矢野 福德、山崎 利通、三木 健明、 大澤 武廣、小松 和則、八島 敏夫、 神永 裕一、川口 和夫、牧野 末次、 （欠席委員） 委 員：植松 伸擴、堀田 敬介、福島 温 （事務局） 都市部都市政策課、(株)長大</p>
会議資料	<p>資料 - 1 生活交通改善事業計画について 資料 - 2 予約型乗合バスの現状とアンケート調査報告について 資料 - 3 バス停名の変更について 資料 - 4 バス停（コミュニティバス）等の改良について 参考資料：茅ヶ崎市バス路線図</p>
会議の公開・ 非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数	なし

(会議の概要)

1. 協議事項

(1) 生活交通改善事業計画について

事務局より「【資料 - 1】生活交通改善事業計画」の資料について説明した。

○三木委員：ノンステップバスの導入にはかなりの金額が必要なため、今後の導入に際し、国や市からの支援を承りたいと考えています。

○会長：計画については、特に意見がないということで了承してよろしいでしょうか。
(意義なし)

2. 報告事項

(1) 予約型乗合バスの現状とアンケート調査報告について

○矢野委員：医療機関について、湘南ライフタウンの藤沢市側にある窪島医院は、小出村時代から利用していること、大きな病院に行っても地元の病院に行くようにと言われることもあります。窪島医院は隣の藤沢市にありますが、この医院に行きたいとの意見があります。また、湘南ライフタウンの接骨院にも行きたいとの声があります。小出地区は、茅ヶ崎市でも高齢化率が高く、3人に1人が高齢者になっておりまして、免許返納していると交通手段がないので、デマンドバスを使っていけると良いと思います。なにか対応していただければと考えています。

○会長：現在、1時間あたり2回運行していますが、これが3回になると恐らく予約が厳しくなってくると思います。今後、声を掛け合い同時に複数人乗車してもらいたいと事務局から話がありましたが、受付回数は1時間に2回だけ1回の運行にまとまって2人、3人、4人と乗っていただくと効率的な運行ができます。使って下さいと言ってもこれ以上、予約が受け付けられませんかとなると困るので地域の方にご理解いただいてこのような使い方をということだと思えます。

○矢野委員：寄合に1人の方が予約して利用したが、同じ場所に行く別の方は予約ができずに45分かけて歩いて行った。予約が一杯で歩いてきたとのことでしたが、何とか予約できればいいなということを思いました。

○会長：今後、予約型乗合バスについて収支改善に向けて検討を進めるということで、まだ、市の方針は決まっていなかったかもしれませんが、来年度の検討課題となりそうなことは、ないでしょうか。

○事務局（関野課長）：まだ、市の中での方向性は決まっていますが、1つの考え方としては、利用者が少ない夜、休日の運行時間について短くすることで運転手の拘束する時間を短くし、運行経費の圧縮を図れないか、研究していきたく考

えています。また、運転手のシフトについて、運行事業者に教えていただきながら考えていきたいと考えています。

○会長：1つの考え方ですが、資料を見ると例えば、予約型乗合バスの1人あたりの運行経費は1,300円ぐらい、一方、北部循環市立病院線は1,000円ぐらいになります。1,000円と1,300円の違いをどのように見るかによりますが、北部循環市立病院線を基準として考えるなら1,000円ぐらいまで予約型乗合バスの運行経費を下げることができれば、よしとする考えもあると思います。金が掛かって、けしからんというよりは利用状況を見ると1,000円ぐらいまではやりようがあると思います。これだけ安定して利用しているようなところは、意外とないので上手に使って、伸ばしていければと思います。

(2) バス停名の変更について

○三木：路線バスの常盤町のバス停名称は、変えないのですか。

○事務局（山崎主査）：今回、名称変更する常盤町のバス停については、路線バスとコミュニティバスとも同じ場所でございます。地域の方は、コミュニティバスの名称を特に変更してほしいとおっしゃっていただいております。コミュニティバスの沿線上、松浪自治会館、小和田公民館など施設の名前を入れていきたいと話がありました。地域のバスということで差別化、役割分担もある中で、コミュニティバスのバス停名称を変更する予定でございます。

○三木委員：地域の総意というか、路線バスとコミュニティバスのバス停名称が違って地域の人には困らないというのであれば、問題ないと思います

○事務局（山本課長補佐）：コミュニティセンターを運営する自治会からコミュニティセンターへ来る際の足としてコミュニティバスを活用したいとの話を聞いております。このような状況を背景に、地域としての合意形成は出来ていると考えています。

○会長：同じ場所であえてバス停名称を違うようにすることは、一般的にはあまり、よろしくない。県内にも同じバス停の名前が違うところはあって、それを長い時間を掛けて同じ名前にしているとか、例えば、相手側のバス停名をカッコ書きにしているとか、いろいろやっている状況から、ちょっと、おやっというところがあります。例えば、カッコ書きにする、どちらをカッコにするかはありますが、そのような話がでなかったのですか。国土交通省さんどうですか。

○小松委員：場所が違うとは思ったので意見を言わなかったのですが、場所が一緒となると、利用者から見た時に、地元の方は別として、初めて行った方には違う場所だと思い、分かりづらいということになると思います。利用者的にはどうなのかと思います。

○会長：準備は済んでいると思いますが、車内アナウンスは両方のバス停を言うとか、できる範囲でやっていたければと思います。地域の方は、あまりそのことを気づかないと思うので、これは、審議事項ではなく報告事項のため、このような意見がありましたと、記録を残しておいてください。

(3) バス停（コミュニティバス）等の改良について

○会長：特に意見がないということによろしいでしょうか。

○委員：異議なし

3. その他

○事務局（山崎主査）：お手元の茅ヶ崎市バス路線図を平成 28 年度に作成しました。市内のバス路線がひと目で分かるようにコミュニティバスを点線で、路線バスを実線で書かせていただいています。本年度に増刷することになりましたので、ご活用いただける方はご連絡ください。

○事務局（山崎主査）：次回の交通会議は、来年度の秋口に予定しており、先ほど予約型乗合バスに関して報告させていただきましたが、その辺をまた改めて報告させていただきたいと考えています。

○会長：それでは、すべての案件がこれで終了いたしました。これをもちまして、本年度第 1 回茅ヶ崎市地域公共交通会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

会長署名 岡村 敏之 _____

委員署名 山崎 利通 _____